

Housing Market News

2022 vol.1

12|17 ▶ 1|20

東京ガス株式会社
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の
トピック解説

TOPIC

オムロン、家庭の太陽光発電の環境価値をポイント化

オムロン ソーシャルソリューションズ（以下、オムロン）は、家庭の太陽光発電の環境価値をカーボン・クレジット化し、ユーザーにポイント還元するサービスを2022年1月から行う。伊藤忠商事などでも同様のサービスを開始しており、これまで埋もれていた家庭の太陽光発電の環境価値を活用する取り組みとして、今後広がっていきそうだ。

CO₂の削減効果を取引きする「カーボン・クレジット」への関心が高まっている。これは、省エネ機器の導入などによるCO₂排出削減量を「クレジット」化し、取引きするもの。市場は拡大傾向であり、国が認証するJ-クレジット制度の2021年10月25日時点でのCO₂削減認証量は712万トンに及ぶ。

太陽光発電の自家消費電力をカーボン・クレジット化し、環境価値として取引きすることができる。既にビルや商業施設では取り組みが進められているが、ここにきて家庭分野でも取り組みが活発化してきた。

オムロンは家庭の太陽光発電の自家消費電力の環境価値をカーボン・クレジット化するサービス「みんなで作るエコ活サークル」を2022年1月から提供する。同社は自家消費した電力量を計測しクレジット化、企業などに売却する。そこで得た収益をユーザーに対し、自家消費量に応じたポイント（Amazonポイントなど）で還元する。なお、サービスの対象となる電力は、太陽光発電から同社製「KPBP-Aシリーズ」蓄電池に一度貯めて自家消費されたもの。オムロンは今回のサービスを付加価値とし、蓄電池の訴求力を高めたいと考えた。3年間で5万件のサービス提供および44GWhのカーボン・クレジットの取引きを目指す。

伊藤忠商事も同様のサービスを今年5月から開始している。太陽光発電で発電し、同社製家庭用蓄電池「Smart Star 3」に溜めたうえで自家消費した電力の環境価値をカーボン・クレジット化し企業に販売。ユーザーには、

電子マネーなどに交換できるグリッドシェア社のグリッドシェアポイントを提供する。1kwあたり1ポイントを付与。1ポイントが0.5円相当で、「まだ還元率は高くないが、今後高めて



「KPBP-Aシリーズ」の蓄電池

いく予定であり蓄電池訴求の付加価値としていきたい」（同社）としている。

国も家庭における太陽光発電の自家消費電力のカーボン・クレジット化の動きに注目している。

12月8日、経済産業省は第1回「カーボンニュートラルの実現に向けたカーボン・クレジットの適切な活用のための環境整備に関する検討会」を開催、日本のカーボン・クレジット市場の本格的な拡大に向け、議論を開始した。そのなかで、「生活者の日常生活での低炭素活動を基にしたクレジット（ポイント）によるオフセットも有効ではないか」とし、家庭分野に埋没しているカーボン・クレジットの活用の重要性を指摘した。

家庭の太陽光発電の自家消費電力をカーボン・クレジット化することで、これまで埋もれていた環境価値をポイントなどで経済価値化でき、太陽光発電や蓄電池の付加価値提供につながる。また、カーボン・クレジットをCO₂削減に取り組む事業者に提供することで、2030年の脱炭素化にも貢献できる。様々なメリットがあるだけに、家庭の太陽光発電における自家消費電力のカーボン・クレジット化の取り組みは今後さらに活発化していきそうだ。

NEWS

今月の主なニュース

12|17

1|20

- ▶ [ボラスグループ 越谷に4カ所目のボラスグループ単独展示場をオープン](#)
- ▶ [積水ハウス 慶應大と断熱・床暖房の健康効果を検証、血圧抑制や活動量増加、子どもの健康への寄与を確認](#)
- ▶ [積水化学工業 買取再販ブランドを全国展開、2030年に500棟の販売を目指す](#)
- ▶ [コスモスイニシア パッシブ設計の戸建分譲を開発、風の流れを解析し計画](#)
- ▶ [（一財）ベターリビング 消費者向けに「冬期における給湯機器の故障予防対策等について」を公表](#)
- ▶ [ケイアイスター不動産 首都圏エリアに特化した賃貸住宅付き分譲住宅の専用サイトをオープン](#)